

日本建築家協会(JIA)建築家クラブ金曜の会 特別企画  
「建築家 槇文彦の3回連続講座」

第2回 12月8日(金)  
Another Utopia その後



第1回 2017年6月9日(金)  
漂うモダニズムと共生のヒューマニズム  
の建築

第3回 2018年3月9日(金)  
5つの質問・槇文彦氏に聞く

■会場: 日本建築家協会 JIA館1F建築家クラブ  
渋谷区神宮前 2-3-18 [TEL:03-3408-8291](tel:03-3408-8291)

■時間: 19:00-20:30 (18:30 受付開始)

■参加申込: 氏名、所属、連絡先をご記入の上、前日までに下記宛にメールにてお申込み下さい。CPD 単位が必要な方は一級建築士番号(JIA 会員)又はCPD ID 番号(他団体/協会)をご記入下さい。

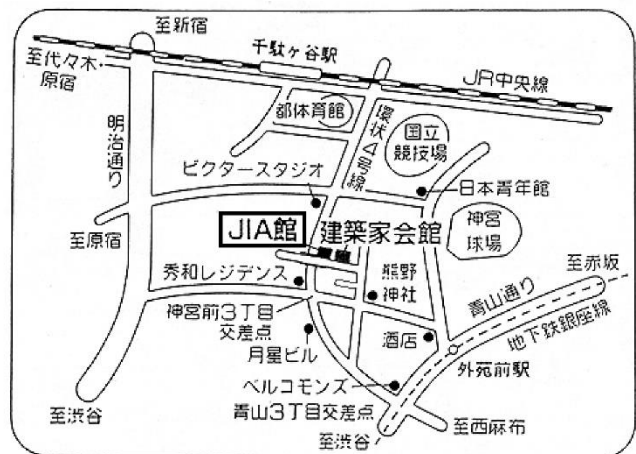
■参加費: 1500円(学生無料)飲食代含む

■主催: JIA 金曜の会(部会長 日高敏郎)、

■協賛: NPO建築家教育推進機構

■CPD: 認定プログラム 2 単位

■申込、問合せ: [frdmjia@gmail.com](mailto:frdmjia@gmail.com) 当日連絡: 070-1265-7008 (佐藤)



## 槇文彦氏のプロフィール



1928年東京都に生まれる。1952年に東京大学工学部建築学科を卒業し、アメリカのクランブルック美術学院及びハーバード大学大学院の修士課程を修了。その後は、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、セルト・ジャクソン建築設計事務所、ワシントン大学のキャンパス・プランニング・オフィスに勤務する。ワシントン大学とハーバード大学で都市デザインの準教授も務める。1965年に帰国、株式会社槇総合計画事務所を設立。

帰国後も中規模の建築士を持つオフィスを構えながら、東京大学教授も務める(1979～1989年)。現在に至るまで日本を含め、アメリカ、ヨーロッパ、アジアで設計活動を行っている。2008年までに「見え隠れする都市（鹿島出版会）」「記憶の形象（筑摩書房）」「漂うモダニズム（左右社）」

「Nurturing Dreams(MIT Press)」が出版されている。今年秋、岩波書店から「残像のモダニズム」出版予定。

主な受賞歴は、1988年にウルフ基金賞、1990年にトーマス・ジェファーソン建築賞、1993年にプリッカー賞、国際建築家連合(UIA)ゴールドメダル、プリンス・オブ・ウェールズ都市デザイン賞、1999年に高松宮殿下記念世界文化賞建築部門受賞。2011年にはAIAアメリカ建築家協会からゴールドメダルも受賞。日本建築学会賞（1963,1985）、毎日芸術賞(1967)、朝日賞(1992)、その他。

### 主な作品

- 1960 名古屋大学豊田講堂
- 1969-92 ヒルサイドテラス
- 1975 沖縄海洋博覧会水族館
- 1981 慶應義塾大学図書館・新館
- 1984 藤沢市秋葉台文化体育館
- 1985 スパイラル／京都国立近代美術館
- 1989 幕張メッセ
- 1990 東京体育館
- 1993 イエルナ ブオナ 芸術センター（サンフランシスコ）
- 1994 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
- 2003 朱鷺メッセ／新潟コンベンションセンター
- 2006 島根県古代出雲歴史博物館
- 2009 マサチューセッツ工科大学 新メディア研究所（ケンブリッジ）
- 2013 4ワールド・トレード・センター（ニューヨーク）
- 2014 アガ・カーンミュージアム（トロント）
- 2016 シンガポール・メディアコープ
- 2017 ビハール州立美術館（インド・パトナ）  
東京電機大学キャンパスⅠ・Ⅱ